

# NOTICIAS DE S. PAULO

(Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil)

(1) No. 1.670

Sabbado, 17 de Dezembro de 1938



今事變動と同時に一躍世人  
やわか大陸政策 最先端とし  
て東亞再建の舞台に華々しく  
デビュした、その蒙疆を見  
るべく京城大學教授鈴木武雄  
「北支文、張家口」を書いて  
書の摘要である  
☆  
よくわれわれの所へ来る手  
紙の封筒には、たゞ無題作  
中國の らうが、色々  
しかし、今日素晴らしいテ  
ン

聖市アセンブレア街  
十六番地  
郵局二七六五  
發行人 香山 六郎  
購読料 一年五〇銭  
一段七二五  
廣告料

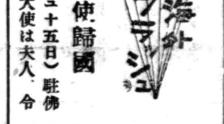


聖市アセンブレア街  
十六番地  
郵局二七六五  
發行人 香山 六郎  
購読料 一年五〇銭  
一段七二五  
廣告料

NOTICIAS DE SÃO PAULO  
Caixa 2165 - Fone. 2-5655  
R. ASSEMBLÉA, 16  
S. Paulo - Brasil



海外  
アマゾン  
駐佛大使歸國  
杉村太郎大使は夫人、令  
向け出發することになった  
(マルセイエ十月五日) 駐佛  
國命令を受け直ちに東京に  
到着した十五日バレンシアに來襲し



## 伊に英領ソマリーランド讓渡

### 英首相の現状維持策

(パリ一十五日) イタリアのリーランド並びにシチチア、アスコニアの御献立も極めて御質素に遊ばれてゐる。云ふ天皇あらせ給ふ、又御近衛兵は紅旗を揚げてゐる。この御内意も洩れ承る。誠に懼れ多いこと

で御奉仕者の者は勿論、

洋服等も御金幣遊ばされ

る。まことに御質素に用

膳し奉つてゐる。

（上海十一月十日）在上海谷正之公使は本省よりの御命令を受け直ちに東京に到着した十五日バレンシアに来襲し

（マルセイエ十月五日）駐佛

國命令を受け直ちに東京に

到着した十五日バレンシアに来襲し

（モスクワ十五日）昨年六

月十五日馬鹿を同伴、十五日マルセイ

ニ出帆の郵船陸續丸で歸國の途についたが、

國は駐佛大使杉田陽太郎氏の後を襲ふためであると見

（號に二號が命中し同船は

大破損を受けた

（パレンシア十一月五日）スペ

イン、フランコ軍爆撃機は

ソ聯空界の痛手

（モスクワ十五日）昨年六

月十五日馬鹿を同伴、十五日マルセイ

ニ出帆の郵船陸續丸で歸國の途についたが、

國は駐佛大使杉田陽太郎氏の後を襲ふためであると見

（號に二號が命中し同船は

大破損を受けた

（パレンシア十一月五日）スペ

イン、フランコ軍爆撃機は

ソ聯空界の痛手

（モスクワ十五日）昨年六

月十五日馬鹿を同伴、十五日マルセイ

ニ出帆の郵船陸續丸で歸國の途についたが、

國は駐佛大使杉田陽太郎氏の後を襲ふためであると見

（號に二號が命中し同船は

大破損を受けた

（パレンシア十一月五日）スペ

イン、フランコ軍爆撃機は

ソ聯空界の痛手

（モスクワ十五日）昨年六

月十五日馬鹿を同伴、十五日マルセイ

ニ出帆の郵船陸續丸で歸國の途についたが、

國は駐佛大使杉田陽太郎氏の後を襲ふためであると見

（號に二號が命中し同船は

大破損を受けた

（パレンシア十一月五日）スペ

イン、フランコ軍爆撃機は

ソ聯空界の痛手

（モスクワ十五日）昨年六

月十五日馬鹿を同伴、十五日マルセイ

ニ出帆の郵船陸續丸で歸國の途についたが、

國は駐佛大使杉田陽太郎氏の後を襲ふためであると見

（號に二號が命中し同船は

大破損を受けた

（パレンシア十一月五日）スペ

イン、フランコ軍爆撃機は

ソ聯空界の痛手

（モスクワ十五日）昨年六

月十五日馬鹿を同伴、十五日マルセイ

ニ出帆の郵船陸續丸で歸國の途についたが、

國は駐佛大使杉田陽太郎氏の後を襲ふためであると見

（號に二號が命中し同船は

大破損を受けた

（パレンシア十一月五日）スペ

イン、フランコ軍爆撃機は

ソ聯空界の痛手

（モスクワ十五日）昨年六

月十五日馬鹿を同伴、十五日マルセイ

ニ出帆の郵船陸續丸で歸國の途についたが、

國は駐佛大使杉田陽太郎氏の後を襲ふためであると見

（號に二號が命中し同船は

大破損を受けた

（パレンシア十一月五日）スペ

イン、フランコ軍爆撃機は

ソ聯空界の痛手

（モスクワ十五日）昨年六

月十五日馬鹿を同伴、十五日マルセイ

ニ出帆の郵船陸續丸で歸國の途についたが、

國は駐佛大使杉田陽太郎氏の後を襲ふためであると見

（號に二號が命中し同船は

大破損を受けた

（パレンシア十一月五日）スペ

イン、フランコ軍爆撃機は

ソ聯空界の痛手

（モスクワ十五日）昨年六

月十五日馬鹿を同伴、十五日マルセイ

ニ出帆の郵船陸續丸で歸國の途についたが、

國は駐佛大使杉田陽太郎氏の後を襲ふためであると見

（號に二號が命中し同船は

大破損を受けた

（パレンシア十一月五日）スペ

イン、フランコ軍爆撃機は

ソ聯空界の痛手

（モスクワ十五日）昨年六

月十五日馬鹿を同伴、十五日マルセイ

ニ出帆の郵船陸續丸で歸國の途についたが、

國は駐佛大使杉田陽太郎氏の後を襲ふためであると見

（號に二號が命中し同船は

大破損を受けた

（パレンシア十一月五日）スペ

イン、フランコ軍爆撃機は

ソ聯空界の痛手

（モスクワ十五日）昨年六

月十五日馬鹿を同伴、十五日マルセイ

ニ出帆の郵船陸續丸で歸國の途についたが、

國は駐佛大使杉田陽太郎氏の後を襲ふためであると見

（號に二號が命中し同船は

大破損を受けた

（パレンシア十一月五日）スペ

イン、フランコ軍爆撃機は

ソ聯空界の痛手

（モスクワ十五日）昨年六

月十五日馬鹿を同伴、十五日マルセイ

ニ出帆の郵船陸續丸で歸國の途についたが、

國は駐佛大使杉田陽太郎氏の後を襲ふためであると見

（號に二號が命中し同船は

大破損を受けた

（パレンシア十一月五日）スペ

イン、フランコ軍爆撃機は

ソ聯空界の痛手

（モスクワ十五日）昨年六

月十五日馬鹿を同伴、十五日マルセイ

ニ出帆の郵船陸續丸で歸國の途についたが、

國は駐佛大使杉田陽太郎氏の後を襲ふためであると見

（號に二號が命中し同船は

大破損を受けた

（パレンシア十一月五日）スペ

イン、フランコ軍爆撃機は

ソ聯空界の痛手

（モスクワ十五日）昨年六

月十五日馬鹿を同伴、十五日マルセイ

ニ出帆の郵船陸續丸で歸國の途についたが、

國は駐佛大使杉田陽太郎氏の後を襲ふためであると見

（號に二號が命中し同船は

大破損を受けた

（パレンシア十一月五日）スペ

イン、フランコ軍爆撃機は

ソ聯空界の痛手

（モスクワ十五日）昨年六

月十五日馬鹿を同伴、十五日マルセイ

ニ出帆の郵船陸續丸で歸國の途についたが、

國は駐

# ソ聯依然誠意示さず

## 暫定協定締結を交渉

### 東郷大使強硬態度を表明

## 露業漁業問題

露領オホツク海日本海一帯は世界水産物の寶庫と云はれるもので日本はボーマス條約によつて露領への出漁権を得た結果年産額は四千万円以上に達し昭和五年まで十ヶ年の平均年産額三一五〇万円に上つてゐる。日本の有する漁區は三百七十二ヶ所で日魯會社の經營するところである。然に一方ソヴェト側は國營遠東漁業トラストカムチナツカ會社ナーリン會社等の經營が異常な進展を見せ日本兩國の生産額の比率は一九三九年八六%對一四%のもののが三二年に五七%對四三%となりソーリビノ夫會談に引續き本省の露領措置として暫定協定締結した結果國內問題として年よりの調令に基づく十四日午後シロノフ極東商務大臣が訪問、國内續の關係上日本側の提案に対する廿日迄に回答ありたる旨を申入れた。

(東京十六日) 日ソ漁業問題

問題に關し西在モスクワ帝國大使館參官は十三日東郷・リトビノ夫會談に引續き本省の露領措置として暫定協定締結した結果國內問題として年よりの調令に基づく十四日午後シロノフ極東商務大臣が訪問、國内續の關係上日本側の提案に対する廿日迄に回答ありたる旨を申入れた。

(東京十六日) 日ソ漁業交渉

ソ聯が我方の誠意ある申し出を無視し故意に交渉を延べ

## 現状維持は不當

### 見解の相違！ リトビノフ譲歩せず

(東京十六日) 日ソ漁業問題

に關する十三日の東郷・リトビノ夫會談内容左の如く。東郷大使は先づ暫定協定に關す

よりの主張を繰返し陳したところ

ソ聯が我方の誠意ある申し出を無視し故意に交渉を延べ

てゐる。

ソ聯が我方の誠意ある申し出を無視し故意に



